

簡略版

ことぶき共同診療所だより
第 28 号
2009 年 11 月 30 日発行
〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1・2F
電話とファクス 045-651-2305(診療所) 045-305-4322(鍼灸院・資料室)
E-Mail info@kyoudouclinic.com
http://kyoudouclinic.com
発行：医療法人ことぶき共同診療所

目次

開設 1 3 年半	鈴木 伸
デイケア 10 周年記念の会と運動会について	高田 あずさ
“ 学習会をやりました ”	田中 俊夫
“ 診療室から ” (24) - ひまつぶしとタバコ -	森 英夫
夏の合宿	佐藤 木綿子
改訂版『2009 ことぶき生活便利マップ』ができました！ 寿町地域ニュース・あらかると(2009 年 4 月～10 月) 寿町関係資料室
職員自己紹介	土屋 洋子・宮崎 伸一
診療所日誌(2009 年 5 月～10 月)	矢島 雅子
共同診療所・鍼灸院ガイド



開設13年半

【はじめに】

皆様のおかげで、この「ことぶき共同診療所」も今年の10月で開設13年半を迎えました。ヘルパーさんや、訪問看護師さん、生活保護のケースワーカーの方々との二人三脚で何とか乗り切っておりますが、一筋縄ではいかないケースも多く、お互いに精神面、体調面に気をつけないと、と思う今日このごろです。早速ここ半年の出来事を振り返ってみたいと思います。

【デイケア10周年】

6月30日、自治労会館にてデイケア10周年を祝う記念式典を行いました。これまで関係していただいた方々に集まっていたいただき、利用者さんとともに10年間を振り返りました。当院のデイは小規模ですが、いろんな病気の方がおり、少数

精鋭？で、さまざまなトラブルや、難題も抱えつつ、職員と利用者が一丸となって、濃密な人生模様を作ってきたなあと思います。あえて料理にたとえるならば、煮込みに煮込んだ「モツ煮込み」のようなデイですが、これからも「いい味わい」になっていってくれればと思います。



【恒例の夏合宿】

8月15日、16日の一泊で、毎年恒例の伊豆高原での夏合宿を行いました。初日の学習会では、

伊豆 Ikuko arai

タイ、ミャンマー国境で少数民族の学校立ち上げ、およびメンタルヘルスのボランティア活動に参加され、帰国された土屋洋子先生からの報告がありました。普段、日本のドヤ街で診療を行う私たちにとって、土屋先生の海外での活動は新鮮でもあり、また、環境が異なっても援助にとって必要な、普遍的なことを確認でき、興味深いものでした。2日目の田中院長からは、最近

の診療所に受診する患者さんにどのような疾患が多いかを、以前のデータと比較しながらの報告がありました。

もちろん、海岸での花火大会やイソガニ取り、夜の語らいなどレクリエーションも充実しており有意義な2日間でした。

【田中先生学習会～共同診療所からみた 寿に多い疾病について～】

10月13日田中院長が「共同診療所からみた寿に多い疾病について」ということで、ヘルパーさんや、訪問看護師、関係諸機関の方々を集めて、久々の学習会を開催しました。当日は、平日にもかかわらず仕事を終えた方々が30数名お集まりいただき、熱のこもった学習会になりました。特に印象的に残ったのは、覚せい剤中毒の患者さんが減少しているという点でした。以前は、遠方の刑務所から出所後ダイレクトに当診療所に来られる方がかなりいたのですが、最近、出

所後のアフターケアが整備されつつあり、そのような方が減っているのではないかとの話がありました。今後も適宜学習会を開催したいと思いますので、ご要望があればお申し付けください。

【運動会】

10月16日、吉浜町公園にて診療所主催の「第8回大運動会」が開催されました。今年は、昨年授与された優勝カップが紛失するという大事件がありましたが、急きょスタッフが手作りのカップを作り、何とか体裁を保ちました。晴天のもと、アルクの方々、診療所の患者さん、ヘルパーさん、訪問看護師さん、実習生の方々が、パンにかじりついたり、走ったり、転んだり、そして綱を引いたりと無心にスポーツに励みました。普段、診療の場で見せる表情とは異なり、童心に返ったように楽しんでいる姿が印象的でした。

(鈴木 伸)

デイケア10周年記念の会と運動会について

去る6月30日の火曜日、デイケア10周年記念の会を開催しました。デイケアのメンバーさんと診療所の職員・元職員の他に、プログラムの講師としてきてくださっている方、地域の連携機関の方にお集まりいただき、盛大な会となりました。

会場にはデイケアのプログラムで作った作品や、一年の流れ、プログラムの様子などの写真を壁一面に展示しました。10年の歴史のなかで保存してきた作品は数多く、選んで会場に持って行くのに苦労しました。

会の内容としては、田中先生による開設当時のお話、メンバーさんによるハンドベルの演奏、オカリナ同好会による演奏とメンバーソロによる演奏、プログラム講師の方から一言、デイケアの歴史といった具合で盛りだくさんでした。最後に会場に来てくださった関係機関の方々からも一言いただくことができました。

開設が1999年の5月。そこから今に至るまでにいろんな人が関わり、いろいろな助けがあって継続してこられたのだと思います。開設当時と変わらないのは、みんなで食べる食事の時間を大切にしていることです。ドヤの生活では三畳一間でひとりきりで出来合いのごはんを食べ

ることが多いので、野菜をふんだんに使ったできたての温かいご飯をみんなで一緒に食べるということが、ほっとしたり、少しだけ幸せを感じたり、「おいしい」と言い合えたりする大切なひと時になります。薬では得られない効果があるのではないかと考えています。そしてこれからもそれは変わらず続けていくことになると思います。

これからのデイケアがどのように発展していくかで真価が問われる、と鋭いことを言うメンバーさんがいました。デイケアはメンバーさんと職員と一緒に作り上げていく場所なので、メンバーさんが自身の生活を主体的に送っていけるように寄り添ってやっていきたいと思っています。今後とも皆様よろしくお願い致します。(10周年の記念誌は現在編集中です。)

10月16日金曜日に開催した運動会には今年もアルクの方々をはじめ、地域の方がたくさん来てくださったので100名近くになりました。今年は少し趣向を変えて、仮装障害物競走を借り物障害物競走にしたり、ただ走るだけの徒競走、紙風船バレー(風のことを計算に入れなかったため苦労しました)を新しく取り入れました。借り物競争では鈴木先生が何度も

借り出され、徒競走でがんばりすぎて転ぶ人ありでこれまでと違う様子を見ることができました。中でも感動的だったのが綱引きです。例年綱引きが紅白の勝敗を決める一番重要で盛り上がる競技なのですが、今年は歴史に残る素晴らしい年になりました。アルクチーム・診療所チームそれぞれ一勝一敗で迎えた決勝戦、両チームともすごい気迫でした。私自身初めて見ましたが、お互い同じ力で引っ張り続けていたため、綱が真中で動かなくなりました。その状態がしばらく続いてみんなが疲れてしまっても綱の位置は変わりませんでした。休憩ということで綱を離れたところ、みんな引き分けでいいとすがすがしい表情で言っていたので、もう一度やらず引き分けということにしました。勝敗は決まらなかったもののなんだかすごく気持ちのいい終わり方でした。運動会では毎回いろんな人が普段見せないような表情を見せてくれるので新鮮な驚きがあります。来年も白熱した皆さんの様子が見られるといいなと思います。協力してくださった各施設の皆様ありがとうございました！

(高田 あずさ)

“ 学習会をやりました ”

去る 10 月 13 日夜、久しぶりに診療所で学習会をやりました。テーマは、“共同診療所からみた寿に多い疾病について”というものでした。今現在使用中の診療所のカルテ 1019 枚につき、表書きの病名を全集計し、数の多い順に並べてみました。廃止病名は勿論含まず、現在何らかの投薬を行なっている疾病がほとんどです。

科別に疾病延数をとってみると、内科等(他科に入らないのでとりあえず内科に含めたものを含む)2266、精神科

1101、整形外科 1333、皮膚科 179、眼科 41 となり、合計で 4920(疾病×人数)となります。これを 1019 人で割ると、4.83 となり、一人あたり平均で約 5 つの病気を治療中ということになります。例をあげれば、アルコール依存症で肝臓を悪くしており、足には水虫があって、今風邪をひいていて、五十肩が痛い、といったぐあいです。実際には、この他に“処置”と称して通ってきてもらっている患者さん達がおり、鶏眼(うおのめ)だったり、熱傷、おできの消毒であったり、爪切りであったりして、カルテ記載のないものもあります。要するに便利屋さんです。

基本的に、うちはホームドクターだと思っ

ているので、患者さんの要望に従って、何科の薬でも出してしまうのですが、集計してみても、こんなに内科疾患が多いのに驚いています。

ベスト 20 に入った疾患について、若干の説明と感想を述べてみたいと思います。

アルコール依存症の多い背景には、寿でアルコール依存症になったのではないにしても、元々の業種が土木建築関係であった人が多く、その人達にとっては、寿

はよく知られた町であり、来やすかったと思います。又、アルコールに起因してホームレスになった場合、“はまかせ”入所かパン券、ドヤ券給付という形で寿町に来て、居ついてしまうことも多いのです。三番目に、横浜市中福祉保健センターでは、自分がアルコール依存症であると認め、治療に専念することを約束する人達には、生活保護法を適用する、ということが行なわれています。そして四番目に、大量飲酒をくり返してきた人には、肝疾患、膵疾患、胃疾患等の内科疾患をもっている人が多く、整形外科の疾患をもっている人も多いため、何でも一応は診ると標榜している当所に来る患者さん

ことぶき共同診療所疾病別上位 20

	病名	人数
1	アルコール依存症	287
2	慢性胃炎・胃潰瘍	265
3	高血圧	252
4	慢性肝炎 (B 型 7、C 型 89)	167
5	変形性脊椎症	157
6	慢性便秘症	154
7	統合失調症	153
8	躁うつ病	134
9	不眠症	123
10	糖尿病	107
11	腰痛	105
12	薬物精神病	97
13	高脂血症	90
14	脳血管障害	88
15	慢性上気道炎	80
16	頭痛	79
17	白癬	73
18	湿疹	70
19	末梢神経障害	62
20	高尿酸血症	60

が多くなったのだと思います。

慢性胃炎、高血圧は、おそらく、どこでも多い病気で、寿ならではということではないと思います。

寿に特徴的なのは慢性肝炎及び肝硬変の多さで、アルコール性慢性肝炎71人もさることながら、ウイルス性肝炎96人うちC型89人というのが最大の問題の一つです。このことは、薬物性精神病(ほとんどが覚醒剤後遺症)が97人もいることと関係しています。C型肝炎ウイルスに罹患した原因のほとんどが、覚醒剤の廻しうちだからです。薬物精神病の人は、幻聴、妄想、不眠がいまだに強く、大量の向精神薬(抗精神病薬、睡眠薬)の服用を必要としている人が多数います。

次に変形性脊椎症ですが、実は私も患者の一人です。49歳の時、高所から落ちて背骨をうち、椎骨を一つ変形させてしまったのです。若いうちは筋肉が強く支えてくれていたせいか、さほど痛みを感じなかったのですが、60歳を過ぎてから年々痛みが強くなり、仕事に差し支えるばかりか、歩くのもおっくうになってしまいました。寿町には、様々な事故で、“痛み”や“歩くこと”と斗っていらっしゃる方がたくさんいると思います。

便秘ですが、年をとってからの便秘(排便コントロール)はとても大変です。ほっておくと最悪、イレウス(腸閉塞)に陥って、危険

なこともあります。寿の老人が便秘になりやすい要因を列挙してみます。()加齢により消化器の蠕動が衰えている。()水分摂取量が少ない。()食べる量がそもそも少ない。()運動量が少ない(特に階段の上り下りが減少)。()繊維質(根菜類等)の摂取が少ない。()トイレが遠かったりして我慢してしまい、結果として硬便になってしまう、等々です。便秘は糖尿病、血圧等にも影響を与えます。気をつけましょう。なお脳梗塞後遺症の人の中には、排泄コントロールがうまくできず、大変困っている人がいます。私自身がそうなのですが。

統合失調症の人が結構寿にはたくさん住んでいると思われます。普通人口の0.8%とかいわれるので、寿の人口を6400人とすれば、約50人の統合失調症者がいて普通ということなのでしょうが、当診療所だけで153人通院しているのですから、少なくとも一般地域の3倍以上の密度で存在しているのでしょうか。統合失調症の人にとって、寿以外の一般地区は、3倍以上住みにくいのかな、と思ったりします。

ここまで書いてきて、これは“たより”の原稿としては、際限がなさすぎる、ということに気がつきました。既に多くの人の前で話していることではあるし、一応ここで、未完の終りとしたいと思います。

(田中 俊夫)

専門科目別の病名と人数

精神科		
	病名	人数
1	アルコール依存症	287
2	統合失調症	153
3	躁うつ病	134
4	不眠症	123
5	薬物精神病	97
6	神経症	56
7	てんかん	51
7	知的障害	51
9	認知症	40
10	ギャンブル依存症	25
11	器質性精神障害	14
12	適応障害	13
12	パニック障害	13
14	不安障害	8
15	心因反応	7
16	老人性精神障害	4
17	発達障害	3
17	コルサコフ症候群	3
18	その他	20

内科		
	病名	人数
1	胃炎・胃潰瘍	265
2	高血圧	252
3	慢性肝炎(B型7人、C型89人)	167
4	慢性便秘症	154
5	糖尿病	107
6	高脂血症	90
7	脳梗塞	88
8	前立腺肥大症	81
9	慢性上気道炎	80
10	逆流性食道炎	80
11	頭痛	79
12	ビタミン欠乏症	73
13	栄養失調	70
14	末梢神経障害	62
15	高尿酸血症	60
16	心不全	57
17	腸炎	50
18	気管支喘息	47
19	狭心症	37
20	肝硬変	30
21	低血圧	23
22	痔核	18
23	肺結核	17
24	貧血	16
25	神経因性膀胱	16
26	腎不全	15
27	慢性閉塞性肺疾患	14
28	閉塞性動脈硬化症	11
29	胆石	10
30	褥瘡	9
31	過敏性腸症候群	9
32	花粉症	7
33	膵炎	6
34	自律神経失調症	3
35	その他	115

整形外科		
	病名	人数
1	変形性脊椎症	157
2	腰痛	105
3	肩関節周囲炎	52
4	変形性膝関節症	45
5	骨折	28
6	膝関節症	27
7	頸椎症	19
8	脊柱管狭窄症	18
9	神経痛	16
10	筋肉痛	11
11	骨粗鬆症	9
11	頸肩腕症候群	9
13	打撲傷	8
14	仙腸関節障害	7
15	椎間板ヘルニア	4
16	膝内症	2
16	腰椎すべり症	2
18	その他	22

眼科		
	病名	人数
1	眼精疲労	27
2	結膜炎	5
3	白内障	4
4	緑内障	2
4	眼瞼炎	2
6	糖尿病性網膜炎	1

当日の出席者は、35名でした(関係機関の方々19名、実習生1名、診療所職員15名)。今回、出席者の皆様に学習会の感想や今後希望するテーマについてアンケートをしました。以下抜粋でご紹介します。「大変楽しく、勉強しながら拝聴させていただきました。次回も疾患についての勉強会をお願いしたいです(主にアルコール依存症、統合失調症、躁うつ病、薬物精神病等)」、「アルコール性末梢神経障害で日常生活動作に支障のある人に対する治療内容、介護者としての留意点について学びたい。」「認知症の方への受診の勤め方、精神科救急の使い方について学びたい。」「1つ1つの疾患のことを具体的にお話ししてくださって、とても分かりやすかったです。今後は症例を挙げてのケース研究をお願いしたいです。」「疾患の解説は分かりやすく理解できました。食事療法について学びたいです。」「寿町の施設の今後の役割について学びたいです。」「実体験の話が良かったです。今後の勉強会はどんなことでも参加します。」ご協力ありがとうございました。今後、学習会の企画に取り入れていければと思います。(編集部)

“診療室から” (24)



イラスト Yuko-sato

ひまつぶしとタバコ

本数は少ないのですがスモーカーです。診療所職員としてはかなり少数派になっています。社会情勢の影響から診療所待合室もついに禁煙となり、そのかわりにテレビが取り付けられ、マンガ本が多数置かれるようになりました。診察を待つ間、新聞やマンガやかわらばんがあると助かります。テレビは光チャンネルであり面白いのはやっておらず検討の余地があると思いますが、患者さん一人一人の要望を聞いていたらチャンネル争いで収拾がつかなくなるのでそれも困ります。いままでのくせでついタバコに火をつけてしまう患者さんもいましたが、混乱はなく外で吸うようになりました。ガンや喘息発作の原因になり、副流煙はノンスモーカーにも害をおよぼすので待合室禁煙はよかったと思いますが、少数派としてタバコの効能についても考えてみました。

まず一つが気分転換です。なにか仕事が一段落したときに一服しようという気になります。「ふー。一息ついたーさて次に取りかかろう」という感じで、もやもやした頭がすっきりします。

さらに重要な意味を持つと考えられるのは、ひまつぶし機能です。「タバコ吸ってテレビ見ることしかやることない」と言う方がいます。あまり外出しない人は部屋でテレビを見る時間は多く、そしてなんの気なしにタバコに火をつけるでしょう。逆にテレビとタバコが無かったら、一日どうぞせばいいのか苦しむかもしれません。同じ事は酒にも言えるかもしれません、ひまつぶしに酒を飲み止まらなくなるほど飲んでしまう。こう考えるとひまつぶしは人生において非常に重要な意味を持つと言えます。どんなひまつぶしをすればいいでしょうか？ 良いひまつぶしと悪いひまつぶしはなんのでしょうか？ ひまつぶしと仕事のちがいはなんのでしょうか？ 自分にとって楽しく、社会からも認められるひまつぶしを見つけることができればしあわせですね。さらにそのひまつぶしで生活できれば最高ですね。

(森 英夫)

なつ 合宿

夏の合宿について

鍼灸院と資料室で働かせて頂くようになってから、はや八ヶ月、今回はじめて夏の合宿に参加させて頂きました。

合宿は、金曜日の夕方、鍼灸院の仕事が終わってから、あおばにカレーの材料の買出しに行き、先発組に入れていただき、伊豆は城ヶ崎海岸近くの別荘に向かいました。緑がいっぱいの素敵な場所でした。ミンミンゼミにツクツクホウシ、鶯にキツツキなど色んな虫や小鳥の鳴き声が聞こえてきました。

土曜日の朝に、夕飯のカレーの準備をしてから、川奈の海水浴場に行きました。天気もよくなって絶好の行楽日和。お昼前に、土曜日第一陣が到着し、一緒に海水浴を満喫しました。午後、午前中お仕事をされていた第二陣が到着し(お疲れさまでした)、田中院長のお話をお聞きました。

田中先生の発表は、ことぶき共同診療所にいらっしゃる患者さんの疾患につい

8月15日から16日にかけて(先発組は14日から)第13回目となる夏合宿を東伊豆城ヶ崎海岸で行いました。学習会では田中俊夫さんと土屋洋子さんから報告がありました。海水浴(川奈)や花火などのレジャーもあり、今年も楽しいものとなりました。

では、恒例の初参加者の感想です。

て、数年前と比べて現在の状況をお話して頂きました。以前と比べて高血圧などの割合が増えているとのこと、寿における高齢化の波が反映されていることをお聞きしました。寿に住んでいらっしゃる方の健康を支える場である診療所は、ある意味、寿の町自体の変化がとてもよく現れる場所でもあるんだろうなあと思いました。

夕飯のカレーを食べてから、夜は海岸で花火大会とカニ取り大会。大ヒットだったのは、スタッフのお子さんが持ってきた、アンパンマン花火のアンパンマンメガネです。これは、見る光全てがアンパンマンに見えるという驚きのメガネで、これを通して勢いよくふきだす花火を見ると、無数のアンパンマンが現れるというすごいものでした。鈴木先生を部長としたカニ取り部に入部し、次々とカニを捕まえたのもいい思い出です。

翌朝は、朝食後、タイに行かれていた土屋先生の発表をお聞きしました。ビル

マ(ミャンマー)との国境沿いの町にあるクリニックのカウンセリングセンターでボランティアをされていた土屋先生からは、写真を見せていただきながら、貴重なお話を伺いました。タイに無償でミャンマーからの難民の方を受け入れている病院があるということにまずびっくりし、そしてそれが海外からの援助やボランティアによ

って支えられていることをお聞きしました。人が人を援助するということや治療するということはどういうことなのだろうと考えさせられる内容でした。

高校以来はじめての合宿でしたが、とっても楽しかったです。また来年も参加させて頂きたいです。

(佐藤 木綿子)

改訂版 『2009 ことぶき生活便利マップ』ができました！

ご好評を頂いております生活便利マップの最新版ができました。今回も以前と同様、町内版、広域(健康・銭湯)版、広域(お買物・ショップ・映画)版の三種類がセットで100円です。ことぶき共同診療所の受付(1階)、資料室(2階)で販売しております。

今回の改訂版の目玉は、引き戸や車椅子用トイレがある簡易宿泊所がわかるようになったことです(ことぶき介護の梅田さんにご協力を頂きました。ありがとうございました)。寿も高齢化が進み、車椅子で生活される方やヘルパーさんを頼まれる方が増えてきました。新しく建てられたり、改装を行なう簡易宿泊所では、そういう方々が生活しやすいようにエレベーターや車椅子トイレなどの設備を備えることが多くなってきています。また、ホステルの機能を持つ簡易宿泊所も増え、



海外からのバックパッカーの方も見かけるようになってきています。以前からの便利マップをお持ちの方には、今回の改訂版と比べていただくことで寿の変化を感じていただけるのではないのでしょうか。もちろん今回はじめて便利マップをご覧になる方にも、寿とその周辺の案内役としてご活用下さい。

(寿町関係資料室・佐藤木綿子)

寿町地域ニュース・あらかると
(2009年4月～10月)

【ネットカフェ生活者等窓口】Lプラザ8階に「かながわチャレンジネット」開設(6.15)【派遣村】横浜公園で横浜版派遣村開催(4.30-5.1)【県営住宅】派遣切りで住居を失い県営いちょう団地に入居中の求職者が退去期限の延長を県に申し入れ(4.30)【不審火】寿内のごみ集積所で不審火が4件発生(8.23-24)【選挙】選挙公報が寿地区内の一部にしか配布されなかった問題について自治会が中区選挙管理委員会に調査要望書提出(9.2)【簡易宿泊所】寿オルタナティブネットワークが Hostel Porto Yokohama(第一浜松荘)内でギャラリーを運営(8.15-) / 大和荘改築中(以下10月現在) / 松葉館改築中 / 朝日荘改築中 / 松影新館改築中 / (仮称)扇荘別館建築予定
(寿町関係資料室・松本一郎)

注：文中の「改築」とは、従前の簡易宿泊所を完全に取り壊して新しく建築された場合で、「改装」とは従前の簡易宿泊所を取り壊さずに外装や内装をリフォームしている場合を指します。

職員自己紹介

つちや ひろこ
土屋 洋子

いまさら自己紹介

はじめまして！ なんちゃっていまさら自己紹介をさせていただきます

私が初めてこの診療所にきてから(ブランクを含めて)とくに2年弱。若くもないし全くフレッシュじゃないです。すみません。

「あれは、板橋だったよね。」先日、大脇先生と昼のビールを飲みながら、診療所と私のなれそめ話をしみじみ致しました。そう、大脇先生は仲人さんなのです。先生は2年前ブラブラしていた私に診療所を紹介してくださったのでした。仲人暗躍の場は、そのとき板橋で行われていた外国人健康相談会の反省会の席でのことでした。そうして数日後には診療所を訪れ、気が付いたら次の週くらいにはよくわからないうちに患者さんと会っていたような気がします。

その後はみなさんご存じのように、半年働かせて頂き、タイで予定以上にブラブラした私をこの6月に再雇用して頂き今日にいたります。また拾っていただきありがとうございます。

振り返ればわが約40年の人生(もうすぐ介護保険チーム入会!)人とのご縁でなんとかここまでやってこれたをつくづく思います。

医者の娘でストレートで卒業したものの(当時はよい子だったんですね)ずっといわ

ゆる大学を標準とした医療現場、医者の世界に居心地の悪さを感じ続け、スキマ、はじっこ、に寄りつつ引き寄せられつつ、人のご縁を伝って辿りつき、腰が落ち着いた場所のひとつがことぶきだったのであります。「こんな医療現場があったのか〜！」何年前かもう数えられませんが初めて越冬に参加した時の衝撃は今でも鮮明です。

そして気がついてみれば、この診療所をはじめ、今現在私が働いたりボランティアをしたり関わっている場所は、なぜかどこも居心地が良いのでした。これって私の人生的にはすごいことだなあと思います。さらにうれしいのは今度は私が仲人さんになって診療所で働くようになった友人たちがいる、ということです。ともだちの輪。

バリバリ治す医者ってところからは程遠いし、仕事は遅いし、すぐにブラブラ癖が出るし、書類かきに至ってはすでに破綻して各方面にご迷惑を...、な私ですが、人とのご縁に関しては極めて運がいいことを自慢してよいのではないかと密かに思っております。

ひとつ残念なのは、同じご縁でも男運というのはまた別なのね...、ということでしょうか。今後の人生のおおきな課題のひとつであります。

こんな私ですが、どうぞ末永くよろしくお願ひいたします。

みやざき しんいち
宮崎 伸一

2009年5月からことぶき共同診療所に週1回勤務している宮崎伸一と申します。私は横浜生まれの横浜育ちなので、寿町の名前はかなり小さい時から知っていました。ただ、その頃は「あそこには行ってはいけない」と言われていたので、つい数年前まで足を踏み入れたことはありませんでした。知人に誘われて寿町の夏祭りのフリーコンサートを聴きにきたのが数年前で、「やっぱり思った通りの街だった」と随分と感動したものでした。コンサートの帰りに灯かりの消えた診療所が目に入りました。「ここは一体どんなことをしているのだろうか」と気にかかりましたが、その時はここで働くなどとは思いませんでした。

2008年の大晦日、日比谷公園で年越し派遣村が開かれました。何かやることがあるだろうと思って行ったのですが、「村民」は最近職と住処を失った人が多く、医療を必要とする人はほとんどいませんでした。肩すかしを食らった思いで駅に向かって公園を歩いていると、賑やかな派遣村

からやや離れたところに、長期間ホームレスをやっていると思しき人が横になっていました。ちょっと歩けば暖かい食事と寝床が得られる場所があるという情報が、この人には入ってこなかったのでしょうか。このような人にこそ援助が向けられるべきであろうと思った時、頭の中に「ことぶき共同診療所」が浮かび上がってきました。

今思えばちょっと勘違いしていたところもありますが、こんな経緯で今ここで働かせてもらっています。わりと忙しい診療所ですが、ちょっと余裕がある時に、患者さんから「古き良き時代」の寿町の話聞かせてもらうことを楽しみにやっております。

医療者と患者さんとが一体となって治療的雰囲気をつくり、そのような状況で治療がすすめられているような組織を治療共同体といいます。これはふつう病棟や病院を単位として使われます。寿町には、診療所をはじめ、住民の健康や生活を援助する様々な組織や人々がいます。住民同士、患者さん同士の関わりも治療的に働くことが随分とあるでしょう。「東アジア共同体」ではありませんが、「ことぶき治療共同体」が出来つつあるように思われます。微力ながら私も参加していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いします。

診療所日誌

2009年5月~10月

5月 連休明け、スリップ者相次ぐ

- 5月9日 土曜日の整形外科、第1・3・5週目のみとなる
 5月12日 宮崎医師、毎週火曜日診療開始
 各区保護課へ新患の予診表の記入依頼を行う
 5月13日 てんぷら祭り
 5月14日 デイケア、潮干狩りへ
 5月20日 相談室にエアコンが付く
 5月22日 天田医師退職に伴い、往診の患者さんをポーラのクリニックに引き継ぐ
 5月23日~24日 デイケア、稲子へ田植え

6月 救急車で来院される人が多い月でした。

- 6月3日 土屋医師、復帰
 6月4日 救急隊とも顔見知りのTさん、度々搬送される
 6月5日 田中医師の診察、毎週金曜日の午後のみとなる
 Mさん、救急車で来院
 6月9日 吉浜町公園、草刈り講習会
 6月10日 レセプトオンライン請求開始
 6月16日 歓送迎会
 6月23日 研修医の大久保医師、1週間診療所で実習
 6月27日 「ことぶき共同診療所だより」発送
 6月30日 「デイケア10周年の会」開催。於：自治労会館

7月 半年ぶり結核騒ぎ

- 7月1日 連続飲酒中のロシアの方来院。通訳もおらず役所へ対応を差し戻す。
 7月4日 診療所前に泥酔者2人。自力で救急車を呼んでいる。
 7月9日 デイケア、Uさん退院。だが、何も出来ないと動かない。
 7月10日 DOTs に来ていたHさん、部屋で亡くなっている。年末に息子さんと撮った写真が遺影になってしまった。
 7月17日 東京から予備校生13名見学に
 患者Mさん、半裸で登場。皆失笑。ここの所、翻弄されっぱなしです
 7月25日~26日 デイケア、稲子でバーベキューと川遊び

8月 冷夏のためか、例年より脱水の人は少なかったです

- 8月1日 診療所の待合室、禁煙へ
 8月8日・15日 天田 Dr. 久しぶりの診察で患者さん大喜び
 8月15日~16日 夏合宿(於：城ヶ崎海岸)
 8月19日~ 診療所夏休みのため、公園の水まきをアルクとデイのメンバーさんをお願いする。
 8月26日 小学2年生が迷い込む。小学校へ連絡して、パパに迎えに来てもらう
 8月27日 灰皿を夜間、外から撤去する

9月 ターミナルの患者さん増える。訪問看護師さん依頼も増える。

- 9月3日 昼休み、ありまクリニックのデイサービスの見学
 9月9日 アルコール離脱症状でソフトをあたるが、やはり受けてもらえず、田中 Dr. 立腹
 9月11日 Kさん、インシュリン DOTs 開始。後日、訪看さん、担当 CW さん、作業所職員さんとカンファ。
 9月15日 てんぷら祭り
 9月16日 小川医師、診療開始
 9月17日 ドヤに住んでいる人の腰に“タカサゴキララマダニ”発見。山に生息しているマダニらしい。患者Yさん、大暴れ。隣の店の看板も倒し、警察呼ばれる。
 9月18日 麻薬施用者免許届く。在宅ターミナルの方のために申請したが、前日に入院となった
 9月24日 入院中のデイケアHさんのカンファレンス
 9月26日~27日 デイケア、稲子で稲刈り
 10月 インフルエンザが蔓延していますが、患者さんは今の所シロです

- 10月1日 精神保健福祉士実習生Tさん、本日より実習開始
 10月2日 年金でドヤ暮らしのTさん、プラザの依頼で往診。入院へ。
 10月6日 DOTs 会議
 10月7日 菊田 Dr. Nさん宅に往診へ
 10月13日 学習会
 Nさん、民間救急で入院
 10月15日 防災パレード
 10月16日 大運動会
 10月17日 Kさん、酔って部屋を間違えること度々で、帳場よりクレーム。部屋の前に花をつける。
 10月23日 新型インフルエンザワクチン届く。
 (矢島 雅子)